

計画目標の達成状況を評価するための評価指標

| 目標 | 数値指標 | データ取得方法 | 現況値 (2022年度) | 目標値 (2028年度) |
|------------------------------|-------------------|------------------------|-------------------|---------------------|
| 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備 | 公共交通が不便と感じる割合 | 町民アンケート調査により計測 | 32.9% | 10.0%以下 |
| 町内移動の利便性向上と利用目的に応じた町外移動手段の確保 | 公共交通を月に1回以上利用する割合 | 町民アンケート調査により計測 | 57.0% | 90.0%以上 |
| | 町内路線バスの年間利用者数 | バス事業者保有の乗降データにより毎年計測 | 千人/年 | 千人/年 |
| | A I オンデマンド交通の利用者数 | 交通事業者の乗降データにより毎年計測 | 0人 | 累計100,000人以上 |
| 地域全体で支える持続可能な公共交通網の構築 | A I オンデマンド交通の会員数 | 交通事業者の乗降データにより毎年計測 | 0会員(世帯) | 3,400会員(世帯) |
| | 公共交通維持対策に係る財政負担 | 普通会計決算より毎年整理 | 14,934千円(令和5年度予算) | 14,934千円(令和5年度予算)以下 |
| | 町内路線バスの収支率 | 事業者報告書、決算報告書等の資料から毎年計測 | % | % |

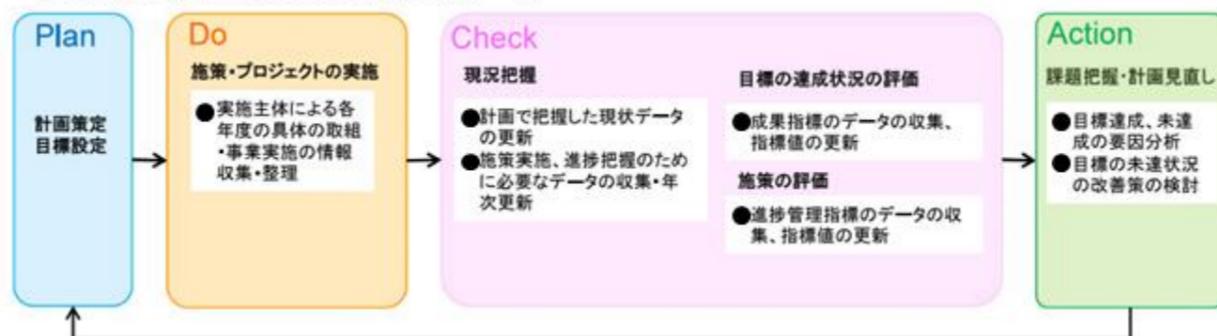
5 計画達成状況の評価

各施策の取組状況や関連計画、事業との整合・連携、社会経済情勢の変化などを勘案しながら、成果指標(目標値)の達成状況を検証し、必要に応じて計画の見直しを行うこととします。

計画の推進にあたっては、PDCAサイクル(立案(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Action))に基づいて、松田町地域公共交通会議において、計画の進捗確認と効果の検証・評価を行うものとします。

計画推進のマネジメントは、松田町地域公共交通会議が主体となって実施しますが、公共交通等に関わる関係者(市民、交通事業者、行政、関係機関など)が施策実施状況やその効果、新たな課題や改善方を共有しながら、国の補助制度等も活用し、十分に連携を図り、取り組んでいくこととします。

<地域公共交通計画のPDCAサイクルのイメージ>



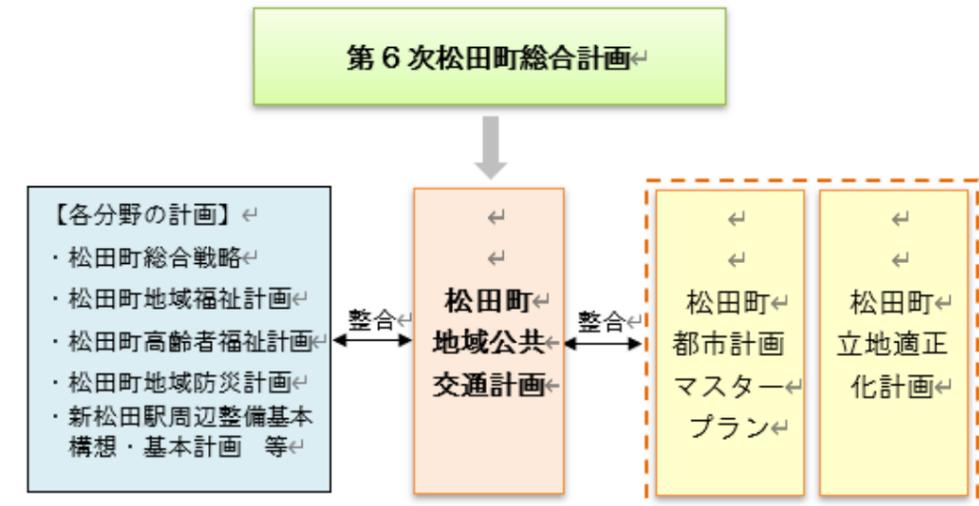
松田町地域公共交通計画 概要版

1 計画策定の目的と位置づけ

人口減少の本格化に伴う、バス等の公共交通サービスの需要の縮小や経営の悪化、運転士不足の深刻化等により地域の公共交通の確保・維持は厳しくなりつつあります。一方、高齢者の運転免許の返納が増加傾向にある等、受け皿としての移動手段を確保することが重要な課題となっています。

このような背景のもと、本町の地域及び公共交通を取り巻く現状等を踏まえた上で、今後、町民、利用者、公共交通事業者、行政等の関係者が連携し、将来に向けて、安全で誰もが利用しやすい公共交通を確保する取り組みを継続的に進められるよう、本町の公共交通に関する今後の目標や施策の方向性を示すことを目的として、交通マスタープランとしての、「松田町地域公共交通計画」を策定するものです。

- ▶ 計画区域：松田町全域。ただし、住民の移動実態等を踏まえ、隣接する市町についても検討の対象とします。
- ▶ 計画期間：令和6年度から令和10年度までの5年間



2 地域公共交通を取り巻く課題

①高齢化の進展等に伴い、今後増加することが予想される交通弱者への対応

・本町の高齢化率は今後も高まることが推計されているとともに、高齢化に伴い自家用車の運転をあきらめる方も増加するものと考えられます。これらの方々の日常生活の足となる公共交通の充実が求められます。

②町民の移動ニーズに柔軟に対応した、利便性の高い公共交通網の形成が必要

・町民アンケート調査結果から、既存の公共交通に対する満足度は低く、自家用車の利用から公共交通への利用転換を図るためには、公共交通利用者の目的・ニーズに対応した利便性の向上を図ることが必要です。

③持続可能な公共交通であるため、町内の多様な輸送資源を総動員することが必要

・町内の多様な輸送資源を総動員し、公共交通を維持していくことが必要です。

3 地域公共交通の基本理念と基本方針

【基本理念】

誰もが“笑顔”で行きたい所へ行けるまち 松田

町民が健康で活動的な生活を送るために、公共交通は重要な役割を担います。特に高齢者、学生、障がい者などの交通弱者が健康で活動的な生活を送れるように、誰もが公共交通を利用して容易に移動ができる環境を整備することが最も重要であると考えます。

町民の利用ニーズに対応した公共交通が、町民の“笑顔”のある暮らしを支えるまちの実現につながります。

【基本方針】

基本方針1. 誰もが安心して“笑顔”で行きたい所へ行ける公共交通網の形成

○町民アンケート調査では、最寄りバス停留所までの距離が遠いことや、坂道が多くて高齢者や障がい者にとっては、バスを利用するまでに問題があることが明らかとなっています。

○また、高齢化の進展に伴い、現在、自家用車を利用されている高齢者の方々が、今後、自家用車を運転することが難しくなり、買い物や通院などあらゆる場面で公共交通機関を利用する機会が増えるものと考えられますが、現状ではこれらの潜在ニーズに対応した公共交通網が形成されていません。

○このため、現状課題となっている公共交通の利用しにくさを解消し、誰もが安心して“笑顔”で行きたい所へ行ける公共交通網の形成を図ることを基本方針とします。

基本方針2. 町外にも移動しやすい公共交通網の形成

○町民の移動の目的で通勤・通学を除けば、最も多い移動目的は買い物であり、移動先は大井町が最も多くなっています。しかし、現状の公共交通網では直接目的地までの運行はなされていないことから、自家用車の利用に頼らざるを得ないのが現状です。

○町内の移動の利便性を高めることは勿論のことですが、町民の移動実態を踏まえれば、町民の移動目的に沿った広域的な公共交通網の形成が求められています。

○このため本計画では、買い物や通院等の町民の移動ニーズに応じた町外にも移動しやすい公共交通網の形成を目指すことを基本方針とします。

基本方針3. 地域の輸送資源を活用した、持続可能な公共交通システムの導入

○既存の公共交通である鉄道、路線バス、タクシー等の地域の多様な輸送資源を総動員し、利便性の向上を事業者に働きかけていきます。

○これと併せて、公共交通が利用したくとも利用しにくい状況にある地域を中心として、A I等の新技術を活用した新しい交通システムの導入を図ることを基本方針とします。

4 基本方針の実現に向けた目標と施策

| 基本方針 | 計画の目標 | 施策事業 | 実施スケジュール | | | | |
|----------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|-----|-----|-----|------|
| | | | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 | R 10 |
| 基本方針1 誰もが安心して“笑顔”で行きたい所へ行ける公共交通網の形成 | 目標1 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備 | 施策事業1 路線バスのバリアフリー化の推進 | 調査・検討・実施 | | | | |
| | | 施策事業2 快適なバス待合空間の整備 | 調査・検討・実施 | | | | |
| | | 施策事業3 広域バスマップの充実 | 実施(適宜見直し) | | | | |
| | | 施策事業4 地域・企業・学校等と連携したモビリティマネジメント | 調査・検討・実施 | | | | |
| 基本方針2 町外にも移動しやすい公共交通網の形成 | 目標2 町内移動の利便性向上と、利用目的に応じた町外移動手段の確保 | 施策事業5 鉄道の利便性向上 | 調査・検討・実施 | | | | |
| | | 施策事業6 タクシーの利便性向上 | 調査・検討・実施 | | | | |
| | | 施策事業7 乗継利便性に優れた交通拠点整備 | 調査・検討(新松田駅周辺整備基本計画との連携) | | | | 実施 |
| | | 施策事業8 駅の公共交通・観光案内情報の提供 | 調査・検討・実施 | | | | |
| 基本方針3 地域の輸送資源を活用した、持続可能な公共交通システムの導入 | 目標3 地域全体で支える持続可能な公共交通網の構築 | 施策事業9 地域間幹線バス路線、地域内フィーダーバス路線の維持 | 検討・実施(適宜見直し) | | | | |
| | | 施策事業10 A Iオンデマンド交通システムの広報・周知 | 実施(継続して適宜実施) | | | | |
| | | 施策事業11 A Iオンデマンド交通実証実験 | 実証実験評価・検証見直し | | | | 本格運行 |
| | | 施策事業12 バス・タクシー乗務員の確保・育成 | 調査・検討・実施 | | | | |
| | | 施策事業13 交通弱者へのバス定期券等の助成 | 検討・実施(適宜見直し) | | | | |

